

(表紙)

社会資本総合整備計画
白糠町における災害に強いまちづくり

北海道 白糠町

平成 25年 2月

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成25年2月26日

計画の名称	白糠町における災害に強いまちづくり		
計画の期間	平成24年度～平成27年度	交付対象	白糠町
計画の目標			

本町は、北海道東部太平洋に面した地域であり、過去20年の間に3度にわたる大規模地震により、人的被害や家屋の損壊、道路や上水道など公共施設も大きな被害を受け、住民生活に多大な支障をきたしている。これらのことから、平成18年には「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域」に指定されており、更には、東日本大震災を教訓として従来の想定外を想定内とするための万全な防災対策を念頭に、住民への確実かつ迅速な情報伝達体制の確保のための防災無線デジタル化整備、地盤高表示看板の整備や避難路・避難場所の整備を推進し、災害に強いまちづくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①津波指定避難場所として新規造成1箇所を含む5箇所を整備
- ②同報系防災無線デジタル化整備によるネットワーク通信システムの構築

定量的指標の定義及び算定式

- ①津波指定避難場所整備に伴う避難場所整備率
 $(\text{避難場所整備率}) = (\text{避難場所整備済面積}) / (\text{避難場所整備必要面積})$
- ②同報系防災無線デジタル化整備に伴う人口カバー率
 $(\text{人口カバー率}) = (\text{無線エリア内人口}) / (\text{住民基本台帳人口})$

定量的指標の現況値及び目標値

当現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H27末)	備考
0.00%	-	95.20%	(H24.10末) エリア内人口：8,726人 住民基本台帳人口：9,168人

全体事業費	合計 (A+B+C)	456百万円	A	441百万円	B	C	15百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$	3.00%
-------	---------------	--------	---	--------	---	---	-------	-----------------------------	-------

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
1-A-1	防災	一般	白糠町	直接	白糠町	都市防災総合推進事業	防災無線デジタル化一式外	白糠町							441.1	
合計														441.1		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
1-C-1	防災	一般	白糠町	直接	白糠町	避難場所整備事業	避難場所造成A=2,500㎡外	白糠町							14.1	
1-C-2	防災	一般	白糠町	直接	白糠町	地盤高表示看板設置事業	町道の電柱に表示看板を設置	白糠町							0.5	
合計														14.6		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
1-C-1	1-A-1と一体で整備することにより、災害時に迅速かつ円滑な避難が可能となり、地域住民の安全・安心を確保する。													
1-C-2	1-A-1と一体で整備することにより、住民の防災意識を喚起し、津波に対する避難意識の高揚を図る。													

市街地整備（都市防災総合推進事業）

